

令和2年度(前期日程)

入学者選抜学力検査問題 英語 出題意図

I 【内容把握を問う択一式と英語で要約する記述式】

フィンランド政府が、野生オオカミを頭数管理のために殺している現状をめぐって、国内世論が二分されていることを伝える新聞記事を読み、内容の大筋を理解できるかを問う問題群。異なる地域、異なる職業の人々の意見から、オオカミの保護を主張する立場と、殺処分を支持する立場という、二つの意見を読み取り、誰がどのような理由でそれを主張しているかを把握することが求められる。難解な語や文章の意味を文脈から類推する力を問い、また、[3]の要約問題によって、読みとった内容を咀嚼し、自分の言葉で簡潔かつ的確に表現する能力を問う。

II 【英語の問題に日本語で答える記述式】

見ず知らずの人のために腎臓移植のドナーとなる人々について、一般の人々とどこが違うのかを検証した実験に関する新聞記事を読み、その趣旨・大筋を理解できるかを問う問題群。二人のドナーの例から、腎臓提供にいたった経緯や移植の結果など、個々の情報を正確に把握する能力を問う。また、実験から得られた結論を正確に把握する能力を問う。

III 【与えられた課題を英文で達成する問題】

日本の高校でクラブ活動に参加することの良い点と悪い点について150語から200語の英文で説明せよという課題。次のような観点から課題の達成度を評価する。

- (1) 関連性：課題を達成するために、議論の展開をサポートする考えや例などを効果的に用いているか。
- (2) 論理構成：文をつなぐ語句を適切に使い、論理的に一貫性のある文章を構成できているか。
- (3) 語彙・文法：幅広い語彙や多様な文の構造を用いて伝えるべき内容を適切に伝えられているか。
- (4) 全体構成：出題の意図を正しく理解し、説得力のある書き方ができており、段落間のバランスが効果的であるか。